

## 建築専門問題

令和元年(2019年)5月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は、【I】、【II】の2題あります。そのうち1題を選択して解答してください。
3. 【I】、【II】は、それぞれ、小問1～3に分かれています。選択した【I】あるいは【II】の小問1～3の全てに答えてください。小問1と小問3は、【I】と【II】で同一で、小問2が、【I】と【II】で別々です。
4. 問題のページは、次のとおりです。

項目	【I】	【II】	摘 要
小問1	1ページ	1ページ	小問1は、【I】と【II】で同一です。
小問2	2ページ	3ページ	小問2は、【I】と【II】で別々です。
小問3	4ページ	4ページ	小問3は、【I】と【II】で同一です。

5. 解答時間は2時間30分です。
6. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
7. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。

# 【Ⅰ】－小問 1

# 【Ⅱ】－小問 1

小問 1 は、【Ⅰ】と【Ⅱ】で同一で、必須解答です。

建築構造又は構造力学に関する次の問いに答えよ。

- (1) 地震層せん断力係数について説明せよ。
- (2) 図 1 のような、底部で固定された H 形断面材の頂部の図心 G 点に鉛直荷重 P 及び水平荷重 Q が作用している。この H 形断面材の底部 a－a 断面における垂直応力度分布が図 2 のような全塑性状態に達している場合の、鉛直荷重 P 及び水平荷重 Q をそれぞれ求めよ。ただし、H 形断面材は等質等断面であり、降伏応力度を  $\sigma_y$  とし、計算の過程も示すこと。

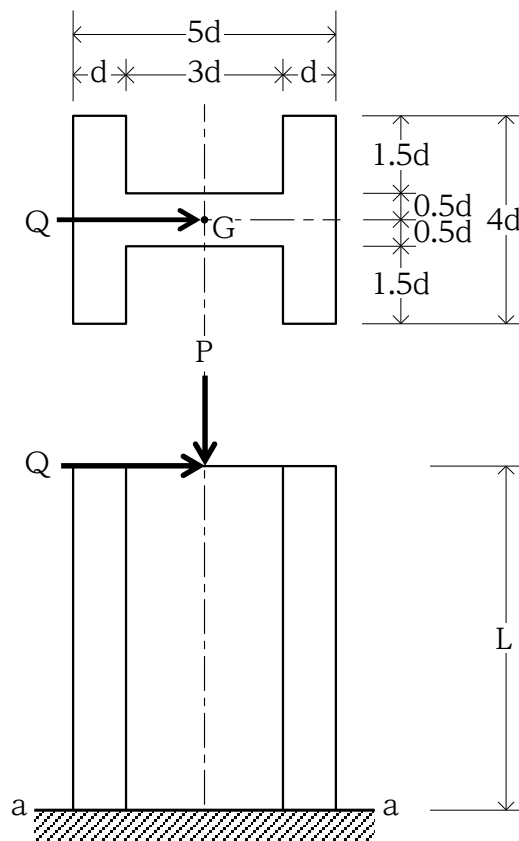


図 1

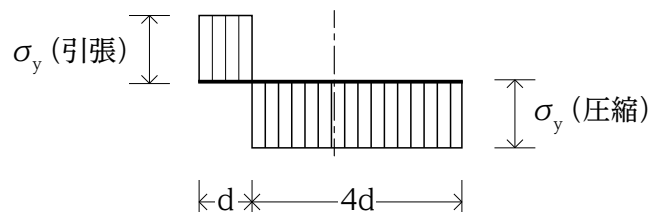


図 2

# 【Ⅰ】－小問2

このページは【Ⅰ】－小問2の問題です。この問題と  
次のページの【Ⅱ】－小問2のうち片方を選択して解答してください。

都市計画、建築計画又は建築環境工学に関する次の問いに答えよ。

- (1) 都市再生特別措置法に定める立地適正化計画について説明せよ。
- (2) 次の語句について、それぞれ説明せよ。
  - (ア) オフィスランドスケープ
  - (イ) コインシデンス効果

## 【Ⅱ】－小問2

このページは【Ⅱ】－小問2の問題です。この問題と前のページの【Ⅰ】－小問2のうち片方を選択して解答してください。

建築施工又は建築法規に関する次の問いに答えよ。

- (1) 鉄筋コンクリート工事におけるコンクリートの打継ぎについて、留意すべき事項を説明せよ。
- (2) 建築基準法第86条に定める、一の敷地とみなすこと等による制限の緩和について説明せよ。

## 【Ⅰ】－小問3

## 【Ⅱ】－小問3

小問3は、【Ⅰ】と【Ⅱ】で同一で、必須解答です。

(1)と(2)の両方に解答しない場合、採点されないことがあります。

東京において、高齢化が急速に進行する中、生涯にわたる都民の豊かな住生活を実現するためには、高齢者の居住の安定を確保することが必要である。このような状況を踏まえ、次の問いに答えよ。

- (1) 特別養護老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅について、それぞれ説明せよ。
- (2) 高齢者が住み慣れた地域において、多様な世代によるコミュニティの中で安心して住み続けることができる社会を実現するため、今後、都はどのように住宅政策に取り組むべきか、東京における高齢者の住まいを取り巻く現状や課題を述べた上で、建築技術者の視点から、あなたの考えを論じよ。

((2)は800字以上1,200字程度)

